

豊かな自然、歴史、文化のふるさと

「ひがししらかわ」で

“地域医療体験”と“地域の皆様との交流”を



研修日：平成24年8月29日（水）～31日（金）

福島県 県南保健福祉事務所

福島県の地域医療の現状がどのようなものであるか、自分の目で見て知りたい。

将来、自分がその担い手になるために、意識を高く保つためにも、その現場の様子を見学して

何か一つでも自分の糧となるような経験をしたい。

(参加者事前アンケートより)





目次

- 「ひがししらかわ」について
 - 研修スケジュール
-

【第1日 8月29日（水）】



- 県南保健福祉事務所
- 医療法人 金澤医院
- 福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院
- 医療従事者との懇談会

【第2日 8月30日（木）】

- 事前研修
- 地域住民との交流
- 健康教室



【第3日 8月31日（金）】



- 研究発表会
- 江竜田の滝
- 吉田富三記念館

-
- 県南地区研修マップ
 - 研修参加者の声
 - 実施要領



「ひがししらかわ」について



みなもん(源流の里づくりシンボルキャラクター)



☆「ひがししらかわ」
棚倉町、矢祭町、埴町、
鮫川村の東白川郡の
4町村の総称です。

やまつりまち 矢祭町

●「合併しない宣言」で全国的に話題になりました。春には矢祭山のつつじが咲き誇り、久慈川での鮎釣りも楽しめます。県の最南端で、雪の少ない温暖な地域です。



はなわまち 埴町

●町の総面積の8割を山林が占める豊かな緑の町です。町の中心を久慈川が縦断し、四季折々に美しい渓谷が楽しめます。また、8月から10月にかけてダリア園が開園します。



さめがわむら 鮫川村

●福島県の南部、阿武隈山地の頂上部に位置し、山間に集落が点在する典型的な中山間地域です。

豊かな自然環境の村内には“江滝田の滝”や“鹿角平観光牧場(天文台)”があります。

基幹産業である農業の振興と、高齢者の健康・生きがいづくり、特産品の開発を連動して「まめな暮らしが育む(スローな)環境を生かしたやすらぎとふれあいの村の実現」を目指しています。



(県南地方振興局 HP より転載使用)

地域医療体験研修（夏期）スケジュール

月 日	内 容	場 所、行 程	地 域 名
平成24年 8月29日 (水)	JR 福島駅出発→福島県立医科大学経由		
	オリエンテーション・見学	県南保健福祉事務所	白河市
	視察	医療法人 金澤医院	矢祭町
	視察	福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院	塙町
	医療従事者との懇談会		
宿泊	ほっとはうす・さめがわ	鮫川村	
8月30日 (木)	事前研修		富田区集落センター
	地域住民との交流		
	健康教室		
宿泊	ほっとはうす・さめがわ		
8月31日 (金)	研究発表会	江竜田の滝	浅川町
	観光	吉田富三記念館	
	見学		
	福島県立医科大学経由→JR 福島駅到着		

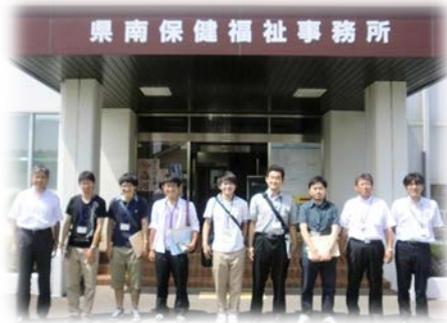
☆研修中は貸切バスで移動しました。



県南保健福祉事務所



渡邊広司
福島県地域医療課主査



☆オリエンテーション☆
研修スケジュールの確認や県南地域の概要について説明を受け、各自己紹介や事務所内の見学を行いました。



西條聡 福医大医療人育成・支援センター助手

☆今回、友人からの口コミ情報で参加した私は、地域医療とは「避地におもむき、見知らぬ人の診察をするもの」だと思っていました。しかし、この研修で私のその考えは間違っていたと認識しました。

(福島県立医科大学医学部1年：八木沼恵)



日時：8月29日（水）10：15～11：10

住所：〒961-0074 白河市郭内 127

代表者名：所長 加藤清司

TEL：0248-22-5441（代表）

http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008

かなざわ
医療法人 金澤医院



☆懇談・視察☆

地域医療に従事する金澤寛院長はじめ医療スタッフの方々と懇談し、診療室や薬局、病棟の視察を行いました。



☆学生は普段、現役で活躍する医師と話す機会は少ない。金澤先生の言葉「患者一人の生涯をずっと見守り続ける」が印象的でした。医師として使命感や貴重な経験談、末期医療の現状などの話を聞くことができました。

(福島県立医科大学医学部1年：松岡亮)



金澤寛 院長

日時：8月29日(水) 13:30~14:40

住所：〒963-5118

東白川郡矢祭町大字東館字反田 13-1

代表者名：院長 金澤寛

TEL：0247-46-2312

<http://kanazawa2312.byoinnavi.jp/pc/>

診療科目：内科・外科・小児科



塙厚生病院



☆懇談・視察☆

病院長より、東白川地域の医療の現状について説明を受け、医療スタッフの誘導で病院内の視察を行いました。



☆医師が不足している地域医療とは、極めてハードなイメージがありましたが、各医療機関が連携することで、各人の負担を減らそうと努力していることを学びました。

(福島県立医科大学医学部5年：一條靖洋)



佐川恵一 病院長



日時：8月29日(水) 15:10~16:40

住所：〒963-5493 東白川郡塙町大字塙字大町 1-5

代表者名：病院長 佐川恵一

TEL：0247-43-1145

<http://www.hanawa-fkousei.jp>

診療科目：内科・消化器科・循環器科・神経内科・小児科・精神科

・心療内科・神経科・外科・肛門科・整形外科・脳神経外科

・リウマチ科・アレルギー科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科

・皮膚科・泌尿器科・放射線科・リハビリテーション科

医療従事者との懇談会



菅野晶夫
 塙厚生病院 副病院長



佐川恵一
 塙厚生病院院長



加藤清司
 福島県 県南保健福祉事務所長



金澤寛
 金澤医院院長



☆座長☆
 大谷晃司
 福医大医療人育成
 ・支援センター副部門長



渡邊広司
 福島県地域医療課主査



地域医療に従事する医師と医学生が「地域医療」をテーマに課題や問題点について、討論を繰り広げました。



西條聡
 福医大医療人育成
 ・支援センター助手



☆地域医療で問題となる医師の疲弊について、医療の新たな人材を増やすことも必要だが、不用な夜間受診や高度医療受診を減らし、今ある人材を守ることも大切だという意見が出ました。学生の立場からでは知り得ない医療の実態を知りました。
 (福島県立医科大学医学部2年：川又崇弘)

日時：8月29日(水) 16:45~17:45

場所：塙町 塙厚生病院 会議室

講演：「地域医療の現状について」

金澤医院 院長 金澤寛

塙厚生病院 病院長 佐川恵一

自由討論：① 地域医療に従事する医師の実状

② 地域医療の課題・問題点

③ 地域医療の確保に向けての提案



事前研修



西條聡医師より健康教室のための事前研修として脈拍・血圧測定や咽頭観察等の説明を受けた後、参加者同士で模擬診察を行いました。

☆実際に患者さん（今回は住民の皆様）と接した際に、診察にあたってどのようなことに気をつけなければならないのか、どのように話をすればよいのか等、アドバイスを受けました。
（福島県立医科大学医学部4年：佐藤孝洋）



日時：8月30日（木）9：15～12：00
場所：鮫川村富田区集落センター

地域住民との交流



県指定重要文化財である二体の立像が納まる富田薬師堂を拝観しました。鮫川村富田区の住民の方々の手作りの昼食弁当に舌鼓を打ちながら、健康教室の前に交流を深めました。



松本哲明
鮫川村富田行政区長



手作り弁当とお味噌汁！！

☆地元の食材をつかった食事はとても美味しく、食事を通して地域住民の人と話をし、すぐに打ちとけることができました。鮫川村に対し、とても親近感が湧きました。
(福島県立医科大学医学部1年：松岡亮)



日時：8月30日（木）12：00～13：00
場所：鮫川村富田区集落センター、富田薬師堂



健康教室



健康教室として、西條聡医師（健康アドバイザー）の指導下、鮫川村富田区の住民の健康チェック（血圧測定や咽頭観察等）を行いました。



☆健康教室で感じたことは、患者さんの話をすべて聞いて、心身になって接することはとても大変だということです。2時間という短い時間でしたが大変疲れました。地元で働く開業医の方は“すごいな”と改めて感心しました。

（福島県立医科大学医学部4年：佐藤孝洋）





☆初めての診察体験で手際が良くなかったが、富田区の皆様が優しく温かく見守ってくれました。
 (福島県立医科大学医学部2年：川又崇弘)



松本区長と固い握手！！



日時：8月30日（木）13：00～15：00
 場所：鮫川村富田区集落センター
 ミニ講座：「めまい」について（西條聡医師）
 出席者：鮫川村富田行政区 松本哲明区長
 富田老友会 青戸学男会長、富田老友会の皆様



研究発表会



福島県立医科大学

医療人育成・支援センター



鮫川村富田行政区

鮫川村と血圧とのかかわり

一條靖洋 佐藤孝洋 川又崇弘
松岡亮 八木沼恵

健康教室(8/30実施)

- 血圧測定
- 口腔内の診察
- 問診
- 地域医療に対するインタビュー

対象

対象:健康教室に来て頂いた皆様(23人)

年齢		性別	
平均	72.6	男	8
最大	93	女	15
最少	58		
69以下	9		
70~79	9		
80以上	5		

基準

- ・血圧の基準:
収縮期血圧(上の血圧)/拡張期血圧(下の血圧)をそれぞれ **130以上/85以上** を高血圧と判断した。
- ・収縮期血圧、拡張期血圧それぞれについて高いかどうかを分析した。
- ・治療薬の服用状況や生活習慣が血圧に与える影響についても考察した。



一條靖洋

福島県立医科大学医学部5年



佐藤孝洋

福島県立医科大学医学部4年

前日の健康教室に参加された住民のデータを元に、血圧の観点より考察し、医学生の提案として発表を行いました。



川又崇弘

福島県立医科大学医学部2年

結果①

血圧(上/下)	人数	平均年齢	服用あり	服用なし	服用率
○/○	11	74.8	4	7	36.4
高/○	7	73.6	6	1	85.7
○/高	2	70.0	1	1	50.0
高/高	3	64.3	0	3	0.0

結果①の考察

- どちらの血圧も高い人は若い人が多い。かつ薬を服用している人がいなかった(0%)
→自分は若いから大丈夫と思っている?
- 上が高い人は、薬を服用している傾向(85%)
→収縮期血圧ばかり気にしている傾向



八木沼恵

福島県立医科大学医学部1年

結果②

血圧(上/下)	人数	喫煙	飲酒
○/○	11	2	2
高/○	7	0	2
○/高	2	0	0
高/高	3	0	0

結果②の考察

- 飲酒、喫煙はほぼなし。
→服用状況が良くないのか?
あるいは塩分、運動などに問題があるのではないか?
家庭の味は濃いのかもしれない
- どちらも正常な人は、薬を飲んでいない人もいる。
薬を飲んでいないから正常?



松岡亮

福島県立医科大学医学部1年

結果③

服用あり	血圧良い	少なくともいずれかの血圧高い
	4	7
服用なし	血圧良い	少なくともいずれかの血圧高い
	7	5

結果③の考察

- 薬を飲んでいないからと言って血圧コントロールができていないわけではない。
また、薬を飲まずとも元々血圧が正常な人もいる。
- 服用状況が良くても血圧が高い人もいる
→運動や塩分制限などでコントロールできないか?

☆アンケートをまとめる過程で、鮫川住民の生活習慣や血圧等が分かり、とても興味深かった。また、皆で話し合う時間も貴重でした。



日時: 8月31日(金) 9:00~10:00

場所: 鮫川村 ほっとはうす・さめがわ

●出席者: 鮫川村富田行政区 松本哲明区長
富田老友会の皆様



えりゅうた
江竜田の滝

日時：8月31日（金）10：30～11：10

とみぞう
吉田富三記念館



☆館長講話・館内見学☆

「がん研究」の先導者吉田富三博士の功績、研究室の再現や、博士のプライベートライフ等の説明を受けました。



内田宗寿 館長

☆世界的な「がん研究」をされた吉田博士には、前々より興味がありました。研究の内容や博士自身の生き方を学ぶことができ、事実、見学によりモチベーションが大きく向上しました。

(福島県立医科大学医学部5年：一條靖洋)



日時：8月31日（金）13：00～14：00

住所：〒963-7788

石川郡浅川町大字袖山字森下 287

代表者名：名誉館長 内田宗寿

TEL：0247-36-4129

<http://www.tomizo.or.jp>





福島県 県南地区
地域医療体験研修（夏期）マップ



県南保健福祉事務所



吉田富三記念館（浅川町）



鮫川村富田行政区



塙厚生病院



江竜田の滝



医療法人 金澤医院



ほっとはうす・さめがわ



地域医療体験研修参加者の声

☆平成24年度夏期研修☆ 福島県立医科大学医学部2年 川又崇弘さん



私は、福島県外の出身なので福島の地域医療について理解を深めるために、この体験研修に参加しました。矢祭町の金澤医院で開業医としての立場から見た地域医療についてお話を伺いました。地域の開業医の特徴としては、一人の患者さんをずっと見るということでした。また、地域の中核病院への患者さんの仲介をするという役割もあります。特に印象的だったのは、診察室の机が対面式で椅子も患者さんと同じものを使っているという点です。患者と医師の関係はこうあるべきだと示しているようでした。東白川郡は県境にあるため県内だけでなく県外からも病院を訪れる人がいるという特徴があります。自治体単位で動かなければならない予防接種等は県を越えては行にくいという問題点があるようです。鮫川村の健康教室では、血圧測定や口腔内の観察、問診をさせていただきました。初めての診察で手際良く出来なかったけれども、参加してくださった皆さんに温かく見守って頂き落ち着いて行うことが出来ました。今回の体験研修を通して地域医療に対する理解が深まり関心が強くなりました。この研修に参加して良かったです。

☆平成24年度夏期研修☆ 福島県立医科大学医学部1年 松岡亮さん



私は地域医療に関心はありましたが、実際にその詳しい現状についてはよくわかりませんでした。そこで今回、この研修で自分の目で地域の実態を見て、何か感じる事が出来ればと思い、参加を決意しました。

金澤医院は地域住民とのつながりを大切に、予防医療を行ったり、介護とも連携をとったりなど、地域医療として重要な役割を果たしていました。入院施設では高齢の患者さんが多く、院長の金澤先生のおっしゃっていた「患者1人の生涯をずっと見守り続ける」という言葉が印象的でした。一方、地域の基幹病院としての塙厚生病院では、CTやMRIなどの高度な機械を使った検査や手術などの高次医療を行っていました。

しかし、この大きな病院ですら医師の人数が足りないらしく、医師不足の過酷な現状を目のあたりにしました。医療従事者の方達との懇談会では、日々の仕事を全うしながらも、更なる地域医療の発展を目指して奮闘されている先生方の話を伺って、尊敬の念を感じると同時に将来自分たちにかかっている期待の大きさを知って気が引き締まる思いがしました。また、鮫川村では住民の皆さんとの交流会の後、血圧測定などの健康教室を行い、その結果をまとめた発表会を行いました。このような健康診断を行うような体験は初めてだったのですが、鮫川村の人達の温かい人柄にも触れることができ貴重な体験だったと思います。

今回の研修を通して地域医療とはどのようなものか、少しわかったような気がします。確かに医師の人手が不足し易い現場ではありませんでしたが、地域住民たちとの関係を密にしながら働く先生たちは、どこか充実しているような印象を受けました。美しく豊かな自然や温かい土地柄もこの地域の魅力ではないかと思います。この体験は、将来自分が医療従事者となって働く上で大きく影響すると思います。それ位、何か感じるものが多かった研修の3日間でした。

1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日

平成24年8月29日（水）～31日（金）〔2泊3日〕

3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生

4 募集定員

10名以内

5 研修内容

（1）地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察する。

（2）地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深める。

6 宿泊場所

東白川郡内宿泊施設等 ※宿泊費は県負担

7 集合・解散場所

JR 福島駅、福島県立医科大学、JR 新白河駅 ※借上バスで移動

8 申込み方法

（1）当所ホームページの地域医療体験研修かんたん申込フォームより申込

（2）FAX または電子メールにより下記あて申込書を送付（電話でも可）

※定員になり次第締め切ります。

9 問い合わせ・申込先

福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課

電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451

E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp

福島県県南保健福祉事務所ホームページ

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008



☆研修最終日、ほっとはうす・さめがわでの「研究発表会」を終えて、“ほっと”一息

研修参加者（平成24年度夏期まで）

福島県県南保健福祉事務所

大学名	参加者数	学年（参加時）						性別	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男性	女性
福島県立医科大学	14	3	2	1	4	4		10	4
獨協医科大学	4		3	1				2	2
帝京大学	3		2	1				3	
山形大学	1	1						1	
東北大学	1	1						1	
北里大学	1			1					1
東京大学	1						1	1	
群馬大学	1		1					1	
(人)	26	5	8	4	4	4	1	19	7

出身都県	福島	東京	山形	茨城	栃木	埼玉	神奈川	大阪	和歌山	鳥取	島根
	12	3	1	2	1	2	1	1	1	1	1

地域医療とは地域密着であり、患者さんは近所であり、知り合いであることも多い。
地域住民たちとの関係を密にしながら働く医師は、とても充実している印象を受けた。

以前の私は、避地医療に赴くなど考えることもなかった…。

今では地域医療のために避地に行くのも良いのではないかと思えるようになった。

私自身の考え方の変化が、この研修の中で最も驚きであった…。

(参加者事後アンケートより)



医師及び医師を志す学生の皆さまへ



東日本大震災から1年が経過した今なお、地震、津波、原子力発電所の事故、それに伴う風評被害は本県に甚大な影響を及ぼしており、地域医療についても例外ではありません。本県は、国内外から心温まる多大な御支援をいただきながら、県民や関係団体を始め県、市町村などあらゆる主体が一丸となり、一日も早くふるさと福島を立て直すため、全力で取り組んでいるところです。県民、とりわけ本県の未来を担う子ども達が安心して伸び伸びと暮らす福島県を築くためには、地域医療提供体制の再構築は極めて重要であり、特に医師を始めとする医療従事者の皆さんのお力が不可欠であると考えて

おります。このような状況の中、県では、医師不足や地域偏在の解消に向けた施策を強化するため、平成23年12月に福島県地域医療支援センターを開設するとともに、新たに全県域を対象とした地域医療再生計画及び浜通り地方医療復興計画を策定し、地域医療を担う医療従事者の流出防止や育成、県外からの招へい等に取り組み、さらには、医療施設の復旧や機能の強化を進め、医療体制の回復を図っているところです。日本を代表する医聖、野口英世博士が生まれ育った福島県。復旧・復興までには、まだ多くの時間を必要とするかもしれませんが、「ふくしまからはじめよう。」を合言葉に、新生ふくしまの創造に向けて歩んでまいります。皆さんとともに、本県の地域医療の復旧・復興を進めてまいりたいと考えておりますので、是非ともお力添えくださることを、心より願っております。

福島県知事 佐藤 雄平

福島県 地域医療体験研修 検索

Click



☆「ひがししらかわ」
棚倉町、矢祭町、塙町、
鮫川村の東白川郡の
4町村の総称です。

平成24年度

地域医療体験研修（夏期）事業実績写真集

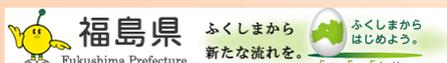
平成24年11月1日 発行



福島県 県南保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5447

FAX 0248-22-5451



http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008